



CHAPTER 5

VSM の移行

この章では、Virtual Supervisor Module (VSM) を Cisco Nexus 1010 に移動または移行する方法について説明します。内容は次のとおりです。

- 「VSM の移行について」 (P.5-1)
- 「注意事項および制約事項」 (P.5-3)
- 「Cisco Nexus 1010 への VSM の移行」 (P.5-3)
- 「移行の確認」 (P.5-7)
- 「その他の関連資料」 (P.5-8)
- 「移行機能の履歴」 (P.5-8)

VSM の移行について

Cisco Nexus 1010 をインストールしたら、VSM を仮想マシンから Cisco Nexus 1010 に移動または移行できます。

図 5-1 に、VSM を Cisco Nexus 1010 に移行にするプロセスを示します。

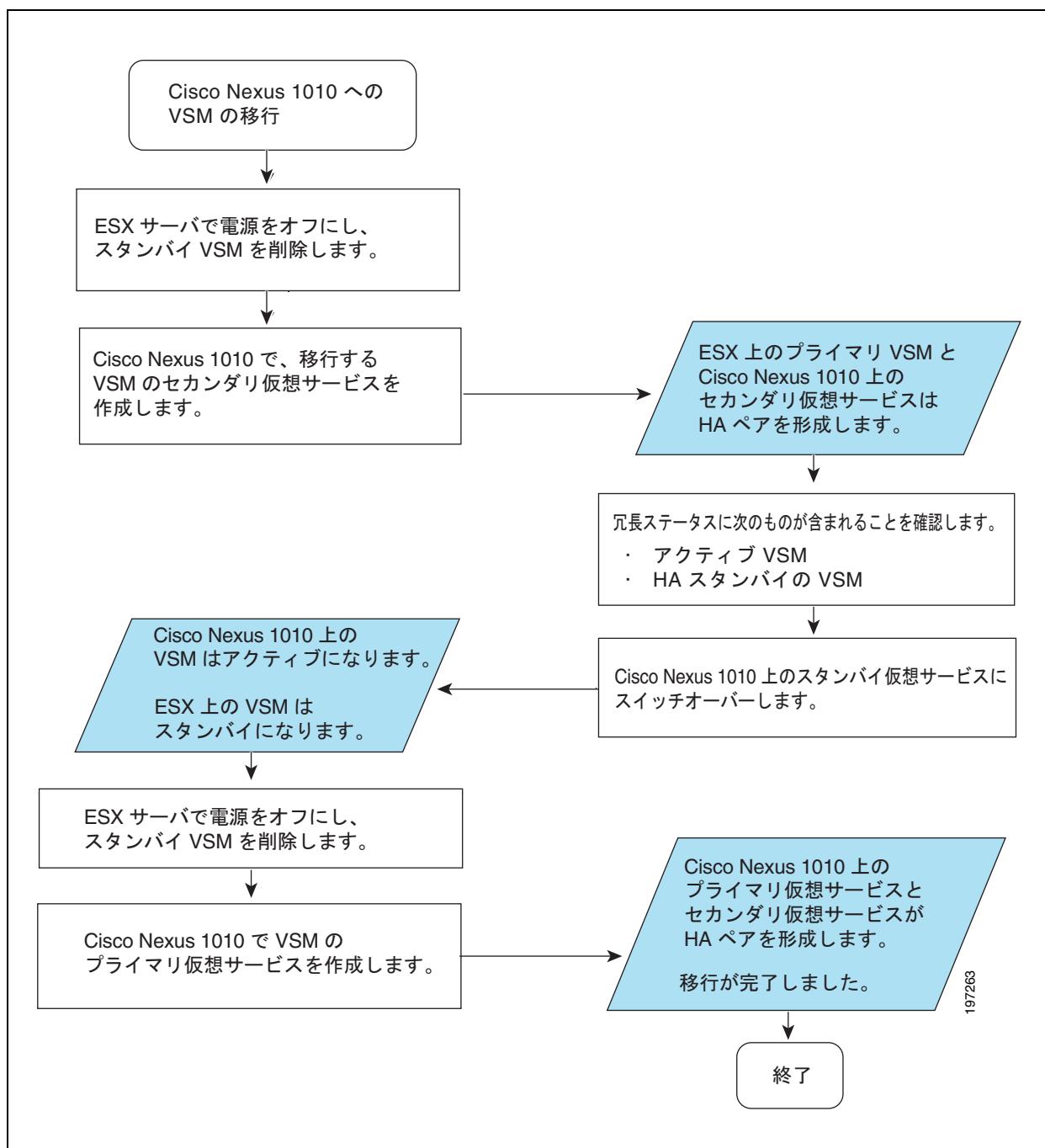


図 5-1 では、ESX 上のスタンバイ ステートの VSM にセカンダリ HA ロールが割り当てられていることを前提としています。スタンバイ ステートの VSM にプライマリ ロールが割り当てられている場合は、フロー チャートのロールを置き換えてください。

■ VSMの移行について

図 5-1

Cisco Nexus 1010 への VSM の移行



注意事項および制約事項

VSMを仮想マシンからCisco Nexus 1010に移動または移行する場合は、次のガイドラインと制約事項に従ってください。

- 移行するVSMとCisco Nexus 1010の両方で同じ管理Virtual LAN (VLAN; 仮想LAN)を使用する必要があります。
- 仮想サービスにはVSM仮想マシンで使用したものと同じRAMサイズおよびディスクサイズを使用する必要があります。

Cisco Nexus 1010へのVSMの移行

サービスを中断せずにVSMをCisco Nexus 1010に移動または移行する手順を次に示します。

始める前に

この手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- プライマリおよびセカンダリCisco Nexus 1010をHAモードでインストールしていること。
- EXECモードでCisco Nexus 1010のCommand-Line Interface (CLI; コマンドラインインターフェイス)にログインしていること。
- ESXから移動または移行するVSMの名前を知っていること。
- Cisco Nexus 1000Vソフトウェアがすでにインストールされ、ESXサーバでリリース4.0(4)SV1(3)にアップグレードされていること。
 - ソフトウェアのインストールについては、『Cisco Nexus 1000V Software Installation Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』を参照してください。
 - アップグレードについては、『Cisco Nexus 1000V Software Upgrade Guide, Release 4.0(4)SV1(3)』を参照してください。
- セカンダリ仮想サービスを作成する場合は、プライマリVSMに使用したのと同じ次の情報を使用します。
 - ISOファイル名
 - 管理IPアドレス
 - ドメインID
 - ホスト名
 - デフォルトゲートウェイ
 - 制御VLAN IDおよびパケットVLAN ID



(注) ESXとの不一致の原因となる値を使用する場合は、ESXとCisco Nexus 1010の同期によりCisco Nexus 1010で設定が上書きされます。

- セカンダリ仮想サービスを作成する場合は、VSM Virtual Machine (VM; 仮想マシン)に使用したのと同じ次の情報を使用します。
 - RAMサイズ
 - ディスクサイズ

手順の詳細

- ステップ 1** ESX vSphere クライアントでスタンバイ VSM を右クリックし、ポップアップメニューから [power off] を選択します。
スタンバイ VSM の電源がオフになります。
- ステップ 2** ESX vSphere クライアントでスタンバイ VSM を右クリックし、ポップアップメニューから [delete from disk] を選択します。
スタンバイ VSM が ESX サーバから削除されます。モジュールが接続された ESX サーバでプライマリ VSM だけがアクティブになります。
- ステップ 3** アクティブ Cisco Nexus 1010 の CLI で次のコマンドを使用して移行する VSM のセカンダリ仮想サービスを作成します。プライマリ VSM を作成するために使用したのと同じ情報を使用します。

config t**virtual service blade name**

ram

virtual-service-blade-type new new iso filename**enable secondary**

例：

```
switch# config t
switch(config)# virtual-service-blade VB-1
switch(config-vsbl-config)# virtual-service-blade-type new new dcos_vsm.iso
switch(config-vsbl-config)# ramsize 2048
switch(config-vsbl-config)# disksize 4
switch(config-vsbl-config)# interface control vlan 1322
switch(config-vsbl-config)# interface packet vlan 1323
switch(config-vsbl-config)# enable secondary
Enter domain id[1-4095]: 1322
Management IP version [V4/V6]: [V4]
Enter Management IP address: 10.78.109.67
Enter Management subnet mask: 255.255.255.224
IPv4 address of the default gateway: 10.78.109.65
Enter HostName: switch
Enter the password for 'admin': xz35vb1zx
switch(config-vsbl-config)#

```

- ステップ 4** 設定が完了したことを確認します。

show virtual-service-blade summary

例：

```
switch(config-vsbl-config)# show virtual-service-blade summary
```

Name	Role	State	Nexus1010-Module
VB-1	PRIMARY	VSB NOT PRESENT	Nexus1010-PRIMARY
VB-1	SECONDARY	VSB DEPLOY IN PROGRESS	Nexus1010-SECONDARY

例：

```
switch(config-vsbl-config)# show virtual-service-blade summary
```

Name	Role	State	Nexus1010-Module
VB-1	PRIMARY	VSB NOT PRESENT	Nexus1010-PRIMARY

VB-1	SECONDARY	VSB POWERED ON	Nexus1010-SECONDARY
------	-----------	----------------	---------------------

セカンダリ Cisco Nexus 1010 で仮想サービスを作成したら、ESX 上のプライマリ VSM と Cisco Nexus 1010 上のセカンダリ仮想サービスとの間で HA ペアが形成されます。

ステップ 5 ESX 上のプライマリ VSM の CLI で次のコマンドを使用して VSM の冗長ステータスを確認します。
show system redundancy status

出力が次のことを示す場合は、システムスイッヂオーバーを続行できます。

- アクティブ VSM の存在
- HA スタンバイ冗長ステートのスタンバイ VSM の存在

例:

```
switch# show system redundancy status
Redundancy role
-----
administrative: primary
operational: primary
Redundancy mode
-----
administrative: HA
operational: HA
This supervisor (sup-1)
-----
Redundancy state: Active
Supervisor state: Active
Internal state: Active with HA standby
Other supervisor (sup-2)
-----
Redundancy state: Standby
Supervisor state: HA standby
Internal state: HA standby
```

ステップ 6 ESX サーバ上のプライマリ VSM の CLI で次のコマンドを使用して Cisco Nexus 1010 上のスタンバイ仮想サービスへの手動スイッヂオーバーを開始します。

system switchover

例:

```
switch# system switchover
-----
2009 Mar 31 04:21:56 n1000v %% VDC-1 %% %SYSMGR-2-HASWITCHOVER_PRE_START:
This supervisor is becoming active (pre-start phase).
2009 Mar 31 04:21:56 n1000v %% VDC-1 %% %SYSMGR-2-HASWITCHOVER_START:
This supervisor is becoming active.
2009 Mar 31 04:21:57 n1000v %% VDC-1 %% %SYSMGR-2-SWITCHOVER_OVER: Switchover completed.
2009 Mar 31 04:22:03 n1000v %% VDC-1 %% %PLATFORM-2-MOD_REMOVE: Module 1 removed (Serial
number )
switch#
```

次のステップに進む前に、スイッヂオーバーが完了し、スタンバイスーパーバイザがアクティブになるまで待機します。

スイッヂオーバーが完了すると、次のことが起こります。

- ESX 上の VSM がリブートします。
 - Cisco Nexus 1010 上の仮想サービス設定が ESX 上の VSM のものと一致するよう上書きされます。
- この時点で Cisco Nexus 1010 上のセカンダリ仮想サービスはアクティブ VSM になります。

ステップ 7 ESX vCenter クライアントでスタンバイ VSM を右クリックし、ポップアップメニューから [power off] を選択します。

Cisco Nexus 1010へのVSMの移行

スタンバイ VSM の電源がオフになります。

ステップ 8 ESX vCenter クライアントでスタンバイ VSM を右クリックし、ポップアップメニューから [delete from disk] を選択します。

スタンバイ VSM が ESX サーバから削除されます。

ステップ 9 アクティブ Cisco Nexus 1010 の CLI で次のコマンドを使用して新しいプライマリ仮想サービスを作成します。セカンダリ仮想サービスを作成するために使用したのと同じ情報を使用します。

config t

virtual service blade name

enable primary

これらのコマンドの入力後に、Cisco Nexus 1010 により追加情報を入力するよう求められます。

アクティブ Cisco Nexus 1010 でプライマリ仮想サービスを作成すると、Cisco Nexus 1010 上のプライマリ仮想サービスとセカンダリ仮想サービスとの間で HA ペアが形成されます。

例：

```
switch# config t
switch(config)# virtual-service-blade VB-1
switch(config-vsbl-config)# enable primary
Enter vsb image: [dcos_vsm.iso]
Enter domain id[1-4095]: 1322
Management IP version [V4/V6]: [V4]
Enter Management IP address: 10.78.109.67
Enter Management subnet mask length: 27
IPv4 address of the default gateway: 10.78.109.65
Enter HostName: switch
Enter the password for 'admin': xz35vb1zx
```

ステップ 10 設定が完了したことを確認します。

show virtual-service-blade summary

例：

```
switch(config-vsbl-config)# show virtual-service-blade summary
-----
Name          Role      State          Nexus1010-Module
-----
VB-1          PRIMARY   VSB DEPLOY IN PROGRESS   Nexus1010-PRIMARY
VB-1          SECONDARY VSB POWERED ON        Nexus1010-SECONDARY
```

例：

```
switch(config-vsbl-config)# show virtual-service-blade summary
-----
Name          Role      State          Nexus1010-Module
-----
VB-1          PRIMARY   VSB POWERED ON        Nexus1010-PRIMARY
VB-1          SECONDARY VSB POWERED ON        Nexus1010-SECONDARY
```

ステップ 11 これで手順は完了です。

VSM が ESX ホストから Cisco Nexus 1010 に移行されました。

移行の確認

移行を確認するには、次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
show virtual-service-blade summary	各仮想サービスの冗長ステート（アクティブまたはスタンバイ）と冗長ロール（プライマリまたはセカンダリ）を表示します。
show system redundancy status	Cisco Nexus 1010 の冗長ステート（アクティブまたはスタンバイ）と冗長ロール（プライマリまたはセカンダリ）を表示します。 例 5-2 (P.5-7) を参照してください。

例 5-1 仮想サービス ブレードの設定

次に、移行中および移行後に仮想サービス ブレードを表示および確認する例を示します。

```
switch(config-vsbl-config)# show virtual-service-blade summary
```

```
-----
Name          Role      State           Nexus1010-Module
-----
VB-1          PRIMARY   VSB NOT PRESENT Nexus1010-PRIMARY
VB-1          SECONDARY VSB DEPLOY IN PROGRESS Nexus1010-SECONDARY
```

```
switch(config-vsbl-config)# show virtual-service-blade summary
```

```
-----
Name          Role      State           Nexus1010-Module
-----
VB-1          PRIMARY   VSB NOT PRESENT Nexus1010-PRIMARY
VB-1          SECONDARY VSB POWERED ON  Nexus1010-SECONDARY
```

例 5-2 システム コンフィギュレーション

次に、移行中にシステム コンフィギュレーションを表示および確認する例を示します。

```
switch# show system redundancy status
Redundancy role
-----
administrative: primary
operational: primary
Redundancy mode
-----
administrative: HA
operational: HA
This supervisor (sup-1)
-----
Redundancy state: Active
Supervisor state: Active
Internal state: Active with HA standby
Other supervisor (sup-2)
-----
Redundancy state: Standby
Supervisor state: HA standby
Internal state: HA standby
```

■ その他の関連資料

その他の関連資料

システムレベルの HA 機能の実装に関する追加情報については、次のセクションを参照してください。

- ・「関連資料」 (P.5-8)
- ・「標準規格」 (P.5-8)
- ・「管理情報ベース (MIB)」 (P.5-8)
- ・「RFC」 (P.5-8)

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
ソフトウェアの設定	「管理ソフトウェアの設定」 (P.2-1)
仮想サービス設定	「仮想サービス ブレードの設定」 (P.4-1)
Cisco Nexus 1010 のインストール	『Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Installation Guide』
Cisco Nexus 1010 コマンド	『Cisco Nexus 1010 Command Reference, Release 4.0(4)SP1(1)』

標準規格

標準規格	タイトル
この機能でサポートされる新規または改訂された標準規格はありません。また、この機能による既存の標準規格サポートの変更はありません。	—

管理情報ベース (MIB)

管理情報ベース (MIB)	MIB のリンク
MIB はこの機能でサポートされません。	

RFC

RFC	タイトル
この機能でサポートされる RFC はありません。	—

移行機能の履歴

ここでは、移行機能のリリース履歴について説明します。

機能名	リリース	機能情報
VSM 移行	4.0(4)SP1(1)	この機能が導入されました。